

## 第4回教育研究評議会議事要録

- 1 日 時 平成16年 5 月12日 (水) 13:10～17:06
- 2 場 所 本部棟 2階 「特別会議室」
- 3 出席者 16人 (別紙名簿のとおり)  
欠席者 1人 (       "       )  
陪席者 2人 (       "       )

議事に先立ち、学長から、第3回教育研究評議会の議事要録について確認があり、原案どおりこれを承認し、議事に入った。

### 4 議 題

#### (1) 教員人事について

学長から、議題(1)の進行について、①、③、②の順で審議する旨、説明があった。

#### ① 小学校英語教育センター担当助教授について

田中理事(人事委員会委員長)から、資料1に基づき選考経緯について説明があり、審議の結果、附属実技教育研究指導センター兼 <sup>かねしげ</sup> <sup>のぼる</sup> 重 昇 講師の平成17年4月1日付け小学校英語教育センター担当助教授の就任を決議した。

なお、この決議に基づき、資料1-2「教員配置」の一覧表中、附属実技教育研究指導センターの「大学院設置基準の教員数」欄及び各年度の教員現員数「教授等」欄を7人から6人に修正し、「備考」欄の「英語1人」を削除することとした。

また、学長から、この措置に伴い、言語系(英語)教育講座から教員1人を減ずる必要がなくなったため、同講座の教員現員数は資料1-2のとおりとなり、平成18年4月に定年退職により減員となる1人分については学長留保分とする旨の説明があり、これを承認した。

③ 学校教育実践センター実地教育担当助教授について

田中理事（人事委員会委員長）から、資料1－3に基づき選考経緯について説明があり、審議の結果、学校教育実践センター藤原伸彦<sup>ふじはらのぶひこ</sup>助手の平成16年8月1日付け学校教育実践センター実地教育担当助教授の就任を決議した。

なお、この決議に基づき、資料1－2「教員配置」の一覧表中、学校教育実践センターの教員現員数について、各年度とも、「教授等」欄を(1)6人から7人とし「助手」欄を1人から0人に修正することとした。

② 高度科学教育国際協力研究センター担当教員の選考について

学長から、高度科学教育国際協力研究センター担当教員の適任者を選考するにあたり、資料1－2「教員配置」の一覧表中、自然系（理科）教育講座の教員現員数について、平成16年度の「教授等」欄を12人から13人に、「助手」欄を4人から3人とし、平成17年以降については、各年度とも「教授等」欄の数に1人を加え、「助手」欄の数から1人を減じた数とする旨の提案説明があり、種々質疑応答が行われたが、提案どおりこれを承認した。

これを受けて、田中理事（人事委員会委員長）から、席上配付された資料に基づき、高度科学教育国際協力研究センター担当教員候補者の選考経緯について説明があり、審議の結果、服部勝憲<sup>はっとりかつのり</sup>助教授の平成17年4月1日付け高度科学教育国際協力研究センター担当教授の就任及び小澤大成<sup>おざわひろあき</sup>助手の平成17年4月1日付け高度科学教育国際協力研究センター担当助教授の就任を決議した。

なお、学長から、高度科学教育国際協力研究センター教員人事に伴い、自然系（理科）教育講座について、平成20年4月に定年退職により減員となる1人分については学長留保分とする旨の説明があり、これを承認した。

## (2) 教員選考の開始について

### ① 情報処理センター情報通信担当助手の助教授昇任について

西村センター部長から、資料2に基づき、情報処理センター情報通信担当助手の助教授昇任に係る選考の申し出があり、審議の結果、選考の開始を承認した。

引き続き、学長から、教員選考においては通常、公募制を採っているが、本件については公募制を採らない旨の説明があり、情報処理センターが抱える諸問題と当該候補者の資質等を総合的に勘案したことによる特例であることが特に付言された。

また、教員人事は現在凍結中であるが、緊急を要する人事等については選考を開始する旨、併せて説明があった。

## 5 報告事項

### (1) 大学院説明会及び大学院前期入学試験学生募集について

事務局から、資料3及び資料3-2に基づき、5月22日開催の本学を会場とした大学院説明会の内容及び5月8日、9日開催の学外を会場とした大学院説明会の参加状況等について報告があった。

なお、学長から、今後も大学院の入学定員確保に向け、各講座等で具体的な方策について検討願いたい旨、依頼があった。

### (2) 平成16年度年度計画(案)実施スケジュールについて

学長から、資料4に基づき、平成16年度年度計画(案)の実施スケジュール(事務局案)を作成した旨の報告があり、今後は、理事と所掌課で各項目の実施スケジュールを協議した後、5月21日開催の評価委員会の審議を経て、経営協議会及び教育研究評議会に報告する旨の説明があった。



(6) 寄附金の受入れについて

事務局から、口頭により、佐々木保行 氏から500,000円の寄附金を受け入れた旨の報告があった。

引き続き、学長から資料8に基づき、佐々木 氏の寄贈財産を基金とした「外国人留学生を支援する基金運営要項」を制定した旨の報告があった。

(7) 現代的教育ニーズ取組支援プログラムについて

学長から、資料9に基づき、6月頃に公募要領の通知が予定されている「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」への申請に向け、各部等でプログラム案を検討願いたい旨の依頼があった。

また、事務局長から、同資料に基づき、「海外先進教育研究実践支援プログラム」には、従来の在外研究員制度が含まれている旨の補足説明があった。

(8) 平成16年度公開講座実施計画について

事務局から、資料10に基づき、平成16年度に実施する公開講座について報告があった。

(9) 平成16年度教育支援講師・アドバイザー等派遣事業について

事務局から、資料11に基づき、平成16年度教育支援講師・アドバイザー等派遣事業について報告があった。

(10) 第1回中日教師教育学術研究集会について

学長から、口頭により、9月26日(日)～27日(月)到北京師範大学において「第1回中日教師教育学術研究集会」を開催する旨の報告があり、開催にあたっては学内に準備委員会を設置すること及び学内に案内と参加の呼びかけを行う旨の説明があった。

(11) 各種会議報告について

① 第21回四国国立大学協議会(4/26)

学長から、資料12に基づき、同協議会の概要について報告があった。

(12) その他

① 教員の入学試験業務に係る超過勤務手当について

学長から、口頭により、教員の裁量労働制導入に伴い、今年度から教員の入学試験業務に係る超過勤務手当は支給されないこと、大学入試センター試験等で週休日等に勤務した場合は、週休日の振替等を行うこととなる旨の説明があった。

② 附属学校における研究発表会等の開催について

佐竹附属学校部長から、「第48回中学校教育研究大会」を6月1日（火）に開催する旨の案内及び参加協力についての依頼があった。

また、5月24日（月）から附属中学校において「平成16年度LFタイム（Long Fuchu Time）」として大学教員による授業が行われ、学長にも講義いただくこと、附属小学校においては6月4日（金）に「第2回授業研究会」を開催する旨、併せて報告があった。

○ 次回の教育研究評議会は、6月9日（水）の13時10分から開催することとした。